

株式会社エフエムなかそらち番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和 7年 1月 27日(月)

2. 開催場所 滝川市まちづくりセンター『みんくる』

3. 審議委員 委員数 7名

【出席 6名】 委員長:田中 一徳

委員:川口 裕史、前田 綾子、大野 重定、笠原 直巳

【レポート提出 1名】 委員:宮森 彩衣果、深瀬 朝美

【放送事業者側出席者】 山口 清悦、めい

4. 議題 番組審議『伊藤としきの空知☆交遊録』

毎週月曜日 本放送 15:00～15:30/毎週土曜日 再放送 17:00～17:30

5. 議事の概要 番組審議委員の該当番組に対する意見聴取

6. 審議(議事)の内容

- ・伊藤さんの語り口が非常にマイルドで、もう何年も続けている長寿番組的な聞きやすさがあった。
 - ・毎回様々なゲストの方が来ると思うが、今回に関しては親しみのある、よりこなれたゲストということで、楽しく雑談をしているという感じを受けた。
 - ・今回の放送回については、それぞれ年末・年始の放送だったので、何度か来ている方であっても、年末であれば1年のふりかえり、今年1番の出来事、などテーマを設けて話すより聞きやすかったのではないかな。
 - ・2本目の番組について、これまでも3名で番組をやっていた経験があるということで、かなり慣れた和気あいあいとした雰囲気はよかった。ポイント活動の話題など、親しみやすく興味を持てる内容だった。
 - ・普段も番組を聴くことがあるが、普段はもっとしっかりと質問もしながら進行している印象があったので、今回審議した回は馴染みのあるゲストを招いた年末年始の特別編成だったと感じている。
- どちらも番組を少し乗っ取られがちだったので、しっかりと舵を取って進行していただけると良いと思った。
- ・ゲストと伊藤さんとの掛け合いが、テンポよく楽しそうに話しているので、好感が持てた。
 - ・楽しそうなトークなど、雰囲気がいいので、心地よく、作業などをしながら聴くのにちょうどいいと感じた。
 - ・ゲストのドイツと空知・炭鉱の歴史のエピソードが、とても為になり関心を持って聴けた。
 - ・気になった点としては、話すテーマが定まっていないので、ずっと集中して聴いているのは難しいと感じた。
 - ・番組タイトルから、ご自身が空知で何を食べた、どこへ行ったなどの目線で紹介していく内容なのかと想像していたので、そういったご自身が交遊したエピソードを盛り込んでいてもいいのではないかな。
 - ・途中で楽曲が1曲あったが、どうしてその楽曲を選んだのかの紹介が欲しかった。エピソードと楽曲の絡みが特になく「今日はこの曲が聴いてみたかったので、」など、簡単にでも楽曲についての紹介があるとより興味を持って聴けると思った。

・おそらく馴染みのゲストの方が出演されていたが、初めて聴くの自分にはお名前だけでは何者なのかがわからず、誰なんだろう？という疑問ばかりが残って集中できなかった。

・ただ「〇〇さん」とだけでなく、「～をしている〇〇さん」「～が好きな〇〇さん」など馴染みの方でも何か紹介を付けてもらえると、その人を想像しながらより関心を持って聴くことができるので良いと思った。

・声がとても聴きやすく、言葉が聞き取りやすかった。すごく落ち着いてお話をされていて、とても好感が持てた。

・ゲストさんの話し方がフランクすぎて、ちょっとテンションについていけない部分もあった。

二人ともパーソナリティーなのであれば、あまり気にならなかったと思うが、ゲストだと思うと少し気になった。

・伊藤さんはとても聴き上手で、話の引き出し方も上手だと感じた。

・BGMが良い意味で単調なので、あまり気にならず話に集中できてよかった。

・せっかく地域の話題の方を招いているので、その人にしか聞けない話を聞けると良いと思った。

本屋さんの方に来ていただいているのであれば、本の話題をもう少し詳しく聞きたかった。

・中間の楽曲の後に、番組タイトルとゲスト名を改めて紹介してくれている点が良いと思った。

・“四十七士”の話題があったが、せっかく地域の伝統的な行事の話題なので、“四十七士”がどういったものなのか知らない人にも知ってもらえるよう、より掘り下げた紹介があると良いと思った。

・(先にも意見が出ているが、)このゲストの方は誰なんだろうとずっと疑問に思いながら聴いている部分があった。番組では馴染みの方でも、リスナーは知らないこともあるので、しっかりとした紹介が欲しい。

・ゲストを交えた3人がお話慣れていて、それぞれがバランスよくうまく掛け合って会話している点は好印象だった。

・1本目、ゲストさんとのトークは、とても知的な内容で素敵なおもしろかった。

・ゲストの口調がすこし砕けすぎている印象もあったが、それに対する伊藤さんのタジタジ具合がおもしろいと思った。

・途中に入れる楽曲数を増やしてはどうか。15分ほどトークが続いていたが、もう少し短く7、8分程度に音楽が入ると、その回のテーマにあまり関心がない人でも小休止になり、番組を聴き続けてもらえるのではないかと感じた。

・15分ずっとトークが続くのは長く感じたので、30分番組であれば2局はあるとよいと思う。トークの話題を変えるきっかけ、メリハリづくりとしても取り入れてみてはどうか。

・番組冒頭に、今日のゲスト・トークテーマについての紹介があった方が、わかりやすいと思った。

・途中に流れる楽曲について、なぜその楽曲を選んだのかの理由がひとことでもいいので聴いてみたかった。こういったひとことが積み重なっていくことで、伊藤さんの人となりを理解してもらって、ひいては伊藤さんのファンづくりにも繋がっていくのではないかと思う。

・ゲストの紹介があまりなく困惑してしまった部分があった。初めて番組を聴く方でも、その方がどういった方なのかがわかる、自己紹介やゲスト紹介が欲しかった。

・冒頭はゲストの勢いが強く内輪ノリになりがち、番組をジャックされがちの部分を感じられたので、伊藤さんが司会者として流れを取り仕切ることも大切かと思った。

・番組全体としては、インタビューもお上手で、知的な対談番組ということで非常にすてきな番組だと感じた。

・ゲストの言葉遣いが気になった。伊藤さんと対峙すると、あまりにも砕けすぎていてあまり心地の良いものではなかった。“交遊録”ということで、友達同士の気軽な会話という点でもあるのかもしれないが、もう少し気遣ってもらえると良かった。

・このゲストにしか聞けない話(本屋さんならではの、本について、仕事についてなどの話)が聴けると、この番組ならではの特別なものになるのではないかと思った。何度か出演されているということで、すでに出ている話題かもしれないが、リスナーとしてはやはりそういった内容に興味を沸くと感じた。

・ゲストの議員の活動についての話題は、漠然としたイメージしかなかった中で、具体的な視察の話や地域の歴史の話は勉強になる点もあり聞いて良かった。定期的に盛り込んでもらえると嬉しい。

・“四十七士”の話題について、存在は知っていたが役の決め方など知らないこともあり、興味を持ってきてけた。こういった情報をどんどん発信してほしい。

・出演者2人だけの話ではなくて、そのバックグラウンドや街の話題や情報などを絡めていただけると、リスナーにもプラスになるより、良い内容になるのではないかと感じた。

・その日のゲストの紹介とトークのテーマについて、冒頭に明確な紹介があるとより聞きやすく、興味を持ちやすいと感じた。

・お話の途中で突然に曲紹介へ移った点があり、時間の都合などがあったのだと思うが、やや不自然に感じた。

・その場その場で進行する空気感の良さもあるかと思うが、事前にある程度の流れの確認や、待ち時間の把握をしておけば、聞いている側も気持ちよく聞けるのではないかと感じました。

・ゲストの議員さんのドイツのお話から、その方が何を思って、空知のためにどんな行動されているのか、知ることができて興味深かった。

・政治家、と肩書きを聞くと身構えてしまうリスナーの方もいるかと思いますが、一つの職業として、地域の未来を考える仲間が、何をしているかを、フレンドリーなラジオを通して耳にすることで、住民が参画していく社会の実現に繋がっていくのだろうと感じた。

・義士祭や除夜の鐘、派遣視察時のお話など、ゲストの方の地元の話を中心に、経験した側の視点で紹介してくれているところが興味深かった。

・30分番組なので時間の関係もあるかもしれませんが、もう少し掘り下げてお話が聞けたらより良かった。

・ゲストの方の職業も様々で、その方だからこそ伝えられるお話があって、また、パーソナリティの伊藤さんとゲストの方との関係性によってお話の広がり方が違うのも面白かった。

・ひとつの番組なのに回ごとに異なる印象で、十人十色な放送を届けてくれるところが素敵だなと思った。

・ゲストさんのおすすめ本のお話も、内容を淡々と紹介するのではなく、伊藤さんとの会話を通すことで、感動した気持ちがダイレクトに伝わってきたように思います。お二人のお話を聞いて、読んでみたいと思ったリスナーの方も多いのではと思った。

・毎回ゲストを招いての対談番組というのは G'Sky さんの番組の中でも少ないと思うので、これからも長く続いてほしい。

(その他意見)

7. 審議機関の答申または意見に対して取った措置
番組担当者に通知
8. 意見概要の公表
弊社ホームページ及び番組内にて公表